

7 光の影響によって樹木の形はどのように変わるだろうか

植物が成長するためには、光合成によってでんぷんがたくさんつくられることが必要です。光合成はおもに葉でおこなわれるので葉が日光によく当ることが必要になってきます。

このように、樹木は葉に日光をたくさん受けやすいように枝や葉を広げています。その枝や葉のつきかたは樹木の種類によって、それぞれ同じような形をもっています。また同じ種類の樹木でも環境によって、枝ののびかたや葉のつきかたがちがってきます。

スギ林に行って、スギ林の外側の木と内部の木の枝のつきかたと、葉の茂りかたを観察してみよう。(図-16) またスギの木が1本で立っているときと比較しよう。(図-17)

スギ林の外側の木は、道路側の下枝はよく茂り、外側へ枝が張っているが内側の枝は枯れています。

スギ林の内部の木は、下枝は枯れていて、上の方の枝や葉だけが茂っています。

1本立っているスギでは円錐形をして、上から日光が下の枝の葉までよく当たるようになっています。



図-16 植林したスギ林(耶麻郡猪苗代町)